

使命

チャンピオンの尊厳から、カップルダンススポーツの未来へ



自由。リーダーシップ。実力。遺産。アイデンティティ。
専門性は価値であり、制約であってはなりません。

はじめに

「宣言」と「卓越憲章」に続き、本書は IDSF Fondazione Heritage の歩みを締めくくり、自由、リーダーシップ、実力、遺産、アイデンティティという 5 つの基本原則を通じて、その使命を示します。

本書は、カップルダンススポーツの未来に関わる根本的な問いを提起します。その独自の本質をどのように守るのか。それを築いた人々の能力と経験をどのように認めるのか。そして、指導者、選手、専門家が、その歴史を形づくってきた価値観に従い、自由に発展させ続けられることを、どのように保障するのか。

IDSF が設立された理由

IDSF Fondazione Heritage は、30 名を超える世界チャンピオンと、ダンススポーツを代表する指導者、選手、専門家たちの経験と決断から生まれました。彼らは、自らの安定、キャリア、職業上の未来を懸けて、新たな道を歩むことを選びました。

それは、自由、能力、経験、実力、アイデンティティという不可欠な価値に基づく、ダンススポーツの未来像を明確にするための決断でした。

財団は、この決断を継続させ、その意味を守り、この経験を未来の世代のための遺産へ変えるために設立されました。

専門指導者の職業的尊厳

私たちは、あらゆる水準においてカップルダンスを専門とする指導者が、キャリアを通じて培った経験、教育、技能を十分に生かし、その専門職によって生計を立て続けられなければならないと考えます。

この目標は、競技を統括し代表する組織に直接関わります。その組織には、指導者の仕事、専門性、役割が適切に認められ、守られ、評価される条件を整える責任があります。

ダンススポーツの発展によって、カップルダンスに人生を捧げてきた人々が、職業を続けるために、ソロ、デュオ、レクリエーションとしての音楽運動、その他のダンス形式など、新たな指導分野へ進んだり、異なる種目を専門としたりすることを強いられるべきではありません。

自らの能力を広げたい人には、その自由が保障されなければなりません。

しかし、カップルダンスに人生を捧げることを選んだ人は、それを続けられなければなりません。

専門性は価値であり、制約であってはなりません。

問い

これほど重大な決断は、必然的にいくつかの問いを生みます。

なぜ、これほど多くの世界チャンピオンと一流の専門家が、辞任し、異なる道を歩むことを決断したのでしょうか。

その重大な決断には、どのような経験、信念、状況が伴っていたのでしょうか。

これらの問いはダンススポーツの歴史の一部であり、知られ、深く考察されるに値します。

IDSF Fondazione Heritage は、記憶、記録、当事者の経験、そして彼らの選択を導いた価値観を通じて、これらの問いへの答えを探ります。

記憶が分断を生んではなりません。

記憶は遺産とならなければなりません。

5 つの原則

01 — 自由

自らの道を選ぶ自由

すべての選手と専門家は、どこで競技し、教え、審査し、自らの道を築くかを自由に選べなければなりません。

一つの組織に所属すること、または特定の道を選ぶことによって、他のスポーツ環境への参加が妨げられるべきではありません。

私たちは、選択の自由と参加の可能性が、規則、組織の自律性、スポーツの公正さへの敬意と両立するダンススポーツを信じます。

自由は、職業上の歩みにも適用されます。

カップルダンスを専門とすることを選んだ指導者は、仕事を続けるためだけに新たな資格の取得や異なる種目の指導課程を求められることなく、自らの専門分野で職業を続け、発展させることができなければなりません。

能力を広げることは、選択でなければなりません。

義務であってはなりません。

選ぶ自由。

参加する自由。

競技する自由。

専門職によって生計を立て続ける自由。

02 — リーダーシップ

経験と卓越性を競技のために

ダンススポーツは、最高水準で培われた経験、能力、知識を重視しなければなりません。

実績あるチャンピオン、指導者、専門家は、競技の成長と方向性に貢献できなければなりません。

長年の学習、犠牲、競技を通じて卓越性に到達した人々が持つ知識は、未来のための資源です。

リーダーシップは、単なる運営であってはなりません。

知識、責任、ビジョンでなければなりません。

導くための能力と経験。

03 — 実力

価値が結果を決めなければならない

私たちは、実力によって結果が決まる競技を信じます。

準備、パフォーマンスの質、能力、技術、スポーツ上の価値が、評価の基本的な基準でなければなりません。

競技の信頼性は、すべての選手が、自らが競う制度を信頼できることから生まれます。

そのため私たちは、透明性、公平性、独立性、誠実性の原則を支持します。

能力の価値は、職業の領域においても認められなければなりません。

長年の学習、経験、実績、指導、専門性は、評価されるべき遺産です。

結果は、競技フロアでそれを勝ち取った者のものでなければなりません。

実力は、宣言されるだけでは不十分です。

認められなければなりません。

04 — 遺産

遺産を守り、未来を築く

カップルダンススポーツは、この競技に人生を捧げた何世代ものチャンピオン、指導者、審査員、専門家によって築かれてきました。

彼らの仕事は、知られ、守られ、受け継がれるに値する、技術的、芸術的、文化的、人間的な遺産を生み出しました。

IDSF Fondazione Heritage は、ダンススポーツの偉大なレジェンドと協力し、その経験、知識、証言を集め、この遺産を新しい世代へ伝える機会を創出します。

遺産とは、記憶だけではありません。

その記憶が生み出した能力を守ることでもあります。

カップルダンスに人生を捧げた指導者は、この遺産の生きた一部です。その経験、方法、技術知識、競技を伝える力は、失われてはならない価値です。

そのため私たちは、新しい世代が、カップルダンススポーツの歴史を築いた人々と出会い、彼らから学ぶ機会を持たなければならないと考えます。

遺産とは、架け橋を築くことでもあります。

財団は、ダンススポーツの価値を高め、その文化を促進し、発展を支えるという意思を共有する他の組織、機関、国際団体との協力関係を築きます。

自らのルーツを知る。

経験を分かち合う。

知識を伝える。

ともに未来を築く。

05 — アイデンティティ

カップルダンススポーツの独自性

カップルダンススポーツは、イングリッシュ・ボールルームダンスの伝統に起源を持ち、何世代ものチャンピオン、指導者、専門家によって100年以上にわたり築かれた歴史、文化、技術、競技構造を備えています。

何十年も前に、これらの競技を統括し発展させる主要組織が設立されたとき、それらを率いたのは当然、その特定分野の最高の専門家でした。カップルダンスの技術、方法論、文化、競技、発展を深く理解する人々です。

それは当然の帰結でした。

一つの競技は、その競技を真に知る人々によって統括されなければならなかったのです。

しかしこの数十年間、ダンススポーツ界の一部の組織は活動範囲を段階的に広げ、起源、構造、方法論、選手のニーズ、スポーツとしての展望が大きく異なる競技を、同一の組織制度の中に次々と統合してきました。

活動や競技種目の拡大は、確かに一つの成長の形となり得ます。

しかし、量的成長と登録者数の増加が発展の主要な基準になると、個々の競技の独自性が二次的なものになる危険があります。

まさにここで、根本的な問いが生まれます。

これほど異なる特性、必要性、考え方を持つ競技が共存する制度を、どうすれば効果的に統括できるのでしょうか。

それは不可能です。

私たちは、ある競技が別の競技より優れているとは考えません。

しかし、異なる競技は、それぞれ固有の特性に従って理解され、代表され、発展すべきだと考えます。

カップルダンススポーツには独自の特性があります。二人の選手の関係、共同パフォーマンスの構築、カップル内のコミュニケーション、技術、音楽的解釈、芸術的側面、トレーニング方法、そして100年以上の歴史によって築かれた競技文化です。

この複雑さには、専門的な能力と、それを理解できる組織的ビジョンが必要です。

根本的に異なる競技が、同じ手段、同じ基準、同じ優先事項で統括・発展できるかのように、一つの組織論理へ単純化されるとき、問題が生じます。

私たちにとって、すべてを一つの論理に還元することは答えになりません。

カップルダンススポーツが他の競技より優れているわけではありません。

しかし、他の競技と同じでもありません。

異なるのです。

異なるからこそ、その本質に即して理解され、発展しなければなりません。

そのため私たちは、カップルダンススポーツが、異なる競技の論理に必ずしも従属することなく、その独自性を高められる固有の環境の中で成長できなければならないと考えます。

これは、対立するために分離するという意味ではありません。

価値を高めるために区別するという意味です。

ダンスの多様性は豊かさの源であり、各競技がそれぞれの本質に従って発展できるときこそ、スポーツ文化全体の遺産に貢献できると認めることです。

近年のオリンピック・ムーブメントの選択が示すように、一部の競技は、特定のオリンピックスポーツモデルに特に適した特性を備えています。

一方、カップルダンススポーツには、100年以上の発展を通じて築かれた固有の歴史的・競技的アイデンティティがあり、その本質に合致する原則に従って理解され、発展する価値があります。

したがって、競技間に序列はありません。

あるのは、アイデンティティ、必要性、展望の違いです。

尊重されなければならないのは、まさにこの多様性です。

そのため、IDSF Fondazione Heritage は組織的独自性の原則を支持します。すなわち、カップルダンススポーツが、その真のニーズに応えられる構造、専門性、発展経路を持つ可能性です。

それはまた、この競技で働く人々の職業的専門性を認めることでもあります。

カップルダンスを専門とする指導者は、仕事を続けるために異なる競技の研修を求められることなく、自らの専門分野においてのみ、指導および審査という職務を続けられなければなりません。

専門性は価値であり、制約であってはなりません。

根本的に異なる競技が一つの論理で統括されると、一方のニーズが他方を制約し、最終的に互いを弱める危険があります。

過去 10 年間にカップルダンスが世界的に経験した深刻な危機は、偏見なく真剣に分析されるべき兆候です。

それは、必ずしも競技が価値を失ったことを示すものではありません。

固有のニーズに十分応えられなくなった組織モデルを示している可能性もあります。

そのため私たちは、未来について議論を始める必要があると考えます。

ダンスの世界を分断するためではなく、そのすべての構成要素が、自らの場、自らのアイデンティティ、自らの成長の道を見いだせるようにするためです。

一つのダンス形式を他の形式に対抗させるものではありません。

一つの競技を他の競技に対抗させるのでもありません。

すべての競技を、その本来の姿において評価するのです。

カップルダンススポーツが再び成長し、革新し、未来を築くためには、本来の場所を取り戻す必要があります。

自らのアイデンティティを認識する。

自らの独自性を守る。

自らの専門性を評価する。

自らの未来を築く。

私たちの責務

IDSF Fondazione Heritage は、この 5 つの原則を通じて、より自由で、より有能で、実力を尊重し、自らの歴史をより深く認識し、固有のアイデンティティに従って発展できるカップルダンススポーツに貢献します。

私たちは、一世代のチャンピオンが積み重ねた経験と犠牲を、未来の世代のための機会へ変えたいと考えます。

また、職業人生をカップルダンスに捧げた人々が、尊厳と自由を持ち、その専門性を認められながら、その道を歩み続けられる条件づくりに貢献します。

競技の成長は、それを築いた人々の価値を認めることと切り離せないからです。

チャンピオンは、学んだことを伝えられなければなりません。

指導者は、自らが専門としてきた分野を教え続けられなければなりません

。

専門家は、培った能力を基礎として自らの未来を築けなければなりません

。

一つの歴史を他の歴史と対立させるためでも、他の競技の価値を下げるためでも、ダンスの世界を分断するためでもありません。

ダンススポーツの未来は、必ずしもすべてを一つにまとめることにかかっているわけではありません。

むしろ、異なるものを認識し、その価値を高め、卓越できる条件を整える力にかかっているのかもしれない。

私たちの志は、危機を再生の機会へ変えることです。

そして、生涯を通じてカップルダンススポーツに身を捧げることを選んだ人々の尊厳を認めることです。

IDSF FONDAZIONE HERITAGE

チャンピオンの尊厳から、カップルダンススポーツの未来へ。

自由。リーダーシップ。実力。遺産。アイデンティティ。